

日米エアフォース友好協会設立30周年を祝して



防衛大臣
小泉進次郎

日米エアフォース友好協会設立30周年誠におめでとうございます。

長年にわたり日米同盟の発展に寄与されてこられた皆様が、このたび新たな節目を迎えられますことに、心よりお慶び申し上げます。

日米同盟は本年、75周年を迎えました。かつて戦火を交えた両国が、今や世界で最も強固な同盟国、そして最も親密な友人となりました。

現在では、東は米国カリフォルニア州から西はインド洋西部アデン湾に至るまで、インド太平洋地域全体でともに活動し、地域の平和と安定に積極的に貢献しています。

空軍種間においても、貴協会より長年にわたり激励を賜っているコープ・ノースや、RED FLAG ALASKA、オペレーション・クリスマス・ドロップへの参加に加え、近年では、海上自衛隊、航空自衛隊と米空軍との共同による搜索救助訓練「RESCUE FLAG IWAKUNI」や「RESCUE FLAG OKINAWA」を実施するなど、協力の裾野は着実に拡大しています。

このように航空自衛隊、ひいては防衛省・自衛隊が米軍と一層緊密に連携できますのも、貴協会からの30年という長きにわたる御支援の賜物です。これまでのご尽力に敬意を表するとともに深く御礼申し上げます。

この30年の間、国際社会及び我が国を取り巻く安全保障は大きく、かつ急速に変化してまいりました。

とりわけ、我が国が戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面する中、同盟の即応性や相互運用性の向上に向けた協力は、一層重要なものとなっています。こうした中、防衛省・自衛隊は、令和7年3月、統合作戦司令部（JJOC）を新設しました。これにより、防衛大

臣の命令の下、同司令官が陸海空自衛隊の部隊を一元的に指揮することが可能となりました。この動きと時を同じくして、在日米軍においても統合軍司令部への機能強化が進められ、この一環としてJ J O Cとの連携を担う新たな体制が構築されるなど、日米間の緊密な連絡・調整は平素より着実に進化しています。

さらに、「新しい戦い方」の出現など、安全保障の領域が様々な分野で加速度的に広がっています。とりわけ「戦い方」の変化への対応は、本年中の三文書の改定に向けた大きなテーマの一つです。四方を海に囲まれているという地理的特性など、我が国が置かれた戦略環境を踏まえ、我が国独自の戦略を構築し、「新しい守り方」を実現するための方策について、全力で検討を進めています。中でも、宇宙空間の利用は、国民生活の基盤そのものであるとともに、陸・海・空を含むオールドメインの軍事作戦上の指揮統制・情報収集基盤の中核をなしており、その能力強化は、各国に共通する喫緊の課題です。防衛省・自衛隊においても、防衛力の抜本的強化、そして「変革」をこれまでにないスピード感で進める中で、宇宙作戦団の新編や、本年度中には航空自衛隊の「航空宇宙自衛隊」への改編などを通じ、宇宙領域への対応を強化しています。こうした新たな領域においても、日米間の連携を質・量ともに高めていくことが不可欠です。

その上で、私自身も、昨年10月の防衛大臣就任以来、ヘグセス戦争長官と幾度となく会談を重ね、率直に言葉を交わせる信頼関係を築いてきました。これら一連の取組は、日米同盟の抑止力及び対処力を更に強化し、我が国のみならずインド太平洋地域、ひいては国際社会の安定にも資するものです。今後とも、防衛力の抜本的強化と日米同盟の深化を車の両輪として、平和と繁栄を支える基盤をより強固なものとするべく、私自身も先頭に立って全力を尽くしてまいります。

一方、こうした取組の中核を担うのは、現場を支える「人」、すなわち自衛隊員にほかなりません。こうした考えの下、これまで自衛官の処遇の改善、生活・勤務環境の改善等に邁進してきました。一方、募集環境が厳しさを増す中、自衛隊員という職業を選択し続けていただくためには、現職隊員の処遇改善に加え、退職した隊員や御家族の皆様も誇りをもって、胸を張って人生を全うできる環境を構築していくことが重要です。諸外国の例も踏まえつつ、我が国も、国を守るという崇高な任務を全うした自衛隊員に対して、また、隊員を平素から支える御家族の皆様に対して報いることができるよう、支援や体制の強化を、いわば「退職自衛隊員・家族支援庁」のような組織を作ることも含め、検討していく必要があ

と考えています。引き続き、防衛大臣として隊員一人ひとりとその御家族を守り抜くとの決意の下、自衛官の社会的地位の向上のための取組を進めてまいります。

貴協会におかれましても、航空自衛隊と米軍との架け橋として、今後ともより一層の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴協会の今後益々の御発展と、井筒会長を始め会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。